

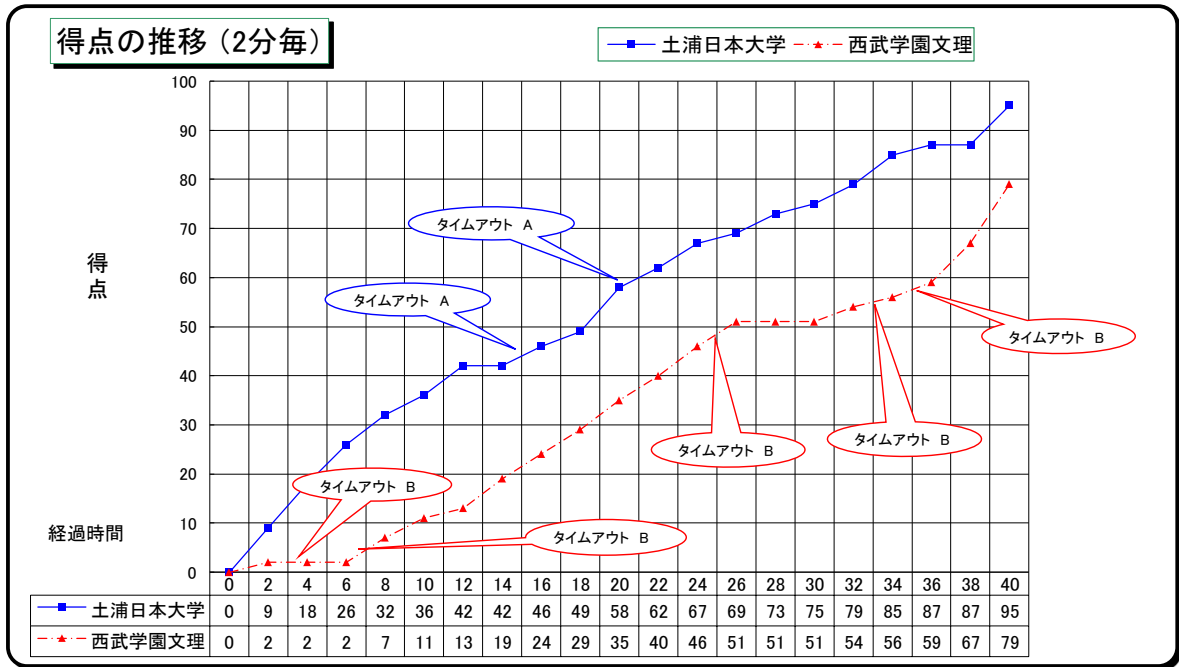
平成27年度 関東高等学校男子バスケットボール大会  
兼 第69回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会  
＜1回戦＞

平成27年 5月30日(土)	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	大会1日目	Bコート	第4試合 13:30～	
<b>&lt;チームA&gt;</b> <b>土浦日本大学</b> 茨城		95 { 36 1Q 11 22 2Q 24 17 3Q 16 20 4Q 28 } 79	<b>&lt;チームB&gt;</b> <b>西武学園文理</b> 埼玉		
主審: 久保 知仁(千葉) 副審: 三角 峻(神奈川)					

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	山崎 純	14	1	4	3	
◎	5	平岩 玄	16		8		2
○	6	軍司 泰人	3		1	1	
○	7	宮本 康平					
◎	8	杉本 天昇	18		9		1
○	9	山田 航希					
◎	10	松脇 圭志	16	4	1	2	2
◎	11	菅原 暉	10		4	2	1
○	12	大嶋 宏太					
○	13	川村 裕太郎					1
○	14	田澤 龍					
○	15	土肥 シャヒン					
○	16	大久保 海斗	3		1	1	2
○	17	高松 駿斗	2		1		
○	18	高原 晟也	13	1	5		
コーチ		佐藤 豊					
合計			95	6	34	9	9

S	No	選手名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	東城 輝	22	4	5		4
◎	5	大野 力	10		4	2	2
	6	山口 裕毅					
	7	荒井 響斗					
	8	砂見 悠吏					
	9	坪田 悦正					
○	10	星野 太我	10	1	3	1	1
◎	11	上原 敬太	8	2	1		2
◎	12	渡邊 陸	22	5	3	1	4
◎	13	佐々木 大輝	7	1	2		3
	14	柳澤 大樹					
	15	川島 丈					
	16	村田 涼					
	17	村田 陸					
	18	大仁田 祐樹					
コーチ		大久保 英人					
合計			79	13	18	4	16

◎:スターター / ○:出場 / 3P:3点シュート(本数) / 2P:2点シュート(本数) / FT:フリースロー(本数) / Foul:パーソナルファウル



**戦評** 記入者: 箱守 正弘

第1P, 土浦日大(以下日大)、西武学園文理(以下西武)共にハーフコートのマンツーマンディフェンス。日大は⑤平岩のオフェンスリバウンドからのゴールで始まる。続いてスティールからのブレイクで連続得点。さらに⑩松脇の3pなどにより得点を重ね、開始6分で18-2となる。西武はタイムアウトをとり立て直しを図るが日大のディフェンスを崩せずミスが続きさらに得点を許してしまう。西武は再びタイムアウト請求。普段の落ち着きを取り戻し④東城を中心として得点差を縮めるが、34-11の日大リードで第1Pを終了する。

第2P, 日大のディフェンスは堅く、攻めあぐねる西武に対し、日大は確実にリバウンドをものにし⑩平岩のインサイドと⑩松脇のアウトサイドからのシュートを中心に得点を重ねる。日大は残り4分、ディフェンスをマンツーマンから1-3-1のゾーンディフェンスに変更。それに対し西武は⑫渡邊の3pや⑪上原のドライブで対抗するが、日大は⑤平岩と⑥軍司のインサイドプレーで得点を重ねていき58-35の日大リードで第2Pは終わる。

第3P, 日大は前半に引き続き1-3-1のゾーンディフェンスをしいてきたが、西武は硬さがなくなり、④東城⑩星野らの連続得点でチームを盛り上げる。途中、日大は1-3-1から3-2のゾーンに変え西武のオフェンスのリズム崩そうとする。さらに日大はインサイドを起点とするオフェンスを展開し確実に得点を決めてくる。これに対し西武は攻める姿勢を失わずアウトサイドシュートからの得点で喰らいついでいく。75-51と日大のリードで点差は縮まらなかったが西武が粘りを見せたギリギリであった。

第4P, 日大は⑥軍司のリバウンドからのシュートや④山崎のドライブが決まり得点を重ねる。一方、西武は⑪上原⑫渡邊らのアウトサイドからのシュートで対抗する。オフェンスもディフェンスもリバウンドでは日大が支配し徐々に得点差が広がり始める。主力のメンバーが変わっても日大のディフェンスはプレッシャーがあり堅く、西武は得点を決められない。終盤にきて西武もリバウンドで対抗できるようになり、⑩星野や④東城などが頑張りを見せ連続でゴール下で得点を決める。日大はその後も選手を替えながらも落ち着いてゲームをコントロールし最終スコアを93-79とし2回戦進出を決めた。